「日本整形外科学会症例レジストリー(JOANR)構築に関する研究」のお知らせ

整形外科が扱う運動器疾患は、小児から高齢者まで幅広い患者さんが対象で、多くの患者さんの健康寿命を損なう大きな原因となっています。その治療である手術の件数も年々増加していますが、その全国規模の全容を捉えるデータベースが未だありません。そこで日本整形外科学会では、運動器疾患の手術に関する大規模データベースを作ることを目的に本研究を計画し当院も参加しています。全国の整形外科で情報を共有できるデータベースを構築することは、有効な治療法や手術の安全性を科学的に確立するために大変有効であると考えます。

＜研究対象＞
当院整形外科で 2020 年 4 月 1 日～2030 年 3 月 31 日の間に、人工関節手術、関節鏡下手術、脊椎手術、骨折治療の手術などの運動器の手術を受けられた全患者さん

＜研究期間＞2030 年 3 月 31 日までを予定しています。

＜研究内容＞
年齢や性別、疾患情報、手術情報、手術・麻酔時間、手術日、術者情報、看護師数、技師数、治療成績、使用した器材・インプラントなどの情報を診療録より調べます。

＜主任研究者＞
公益社団法人　日本整形外科学会　理事　種市　洋(症例レジストリー委員会)

研究で集めるデータには患者さんのお名前や住所など個人を特定する情報は含まれません。研究結果は，専門医制度のため、医療機器の安全性向上のためなどのデータベースは使用され、また学術論文として公表することがありますが、いかなる場合でも個人情報が漏れることはありません。プライバシーは守られます。 本研究は当院の倫理・臨床研究審査委員会で承認されています。

本研究の趣旨をご理解いただき本研究に参加をお願いします。もし参加を望まれない場合は研究から除外しますので担当医師にお申し出ください。研究が始まった後でも自由に参加を取りやめることができますのでその際も担当医師にお伝えください。ご協力いただけない場合でも、今後の診療に不利益はきたしません。また、ご質問がある場合も担当医師にお伝えください。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2021 年 2 月 1 日

京都桂病院　整形外科　副部長　原田　豪人